

安保・戦争国会粉碎へ!

2015年4月8日
No.285

Tel 03-3651-4861
mail_cn001@zengakuren.jp
http://www.zengakuren.jp/

全学連(斎藤郁真委員長) 書記局通信

法大開講日の文連委員長・武田君アピール

みなさん、これから先、大学でいろいろ言われると思います。「憲法を守れ」だとか、権利の話。しかし、実際にそういうことを言っている教授が、では自らが教鞭をとっている大学で何をしているか。つい先日、新入生が、どうやら希望すれば当該学部の教授と個別面談ができるようですが、そこで「学外団体のピラを受け取ったか」「大学を批判するピラを受け取ったか」「あの連中は文化連盟というカルトだから関わるな」。こんなことを新入生に面談の場でほざいてる。こんなことも明らかになっています。こんな大学のどこに正義があるんですか!



いては「自立した市民がないから日本はダメなんだ」なんて物言いをしている。好きになれるわけじゃないですか!

みなさん、私たちは既成の腐りきった左翼、あるいは権威・制度に頼って未来を勝ちとるのではなく、やはり自分たちの現場でこういう欺瞞的なあり方を、国家権力との闘いと一体で粉碎していく。そのために、ぜひ私たちといっしょに立ち上がってほしい。

みなさん、大学というのは、大学だけではないかもしれませんが、「自分で考えて、自分で行動する場」です。「大学に何か言われるから」・・・そんなものを判断基準にしていたら、田中優子がというような意味でも、グローバル人材になてなれませんよ、みなさん。

今、大学は安倍政権の戦争政治の下で、戦後的なあり方の一切が崩壊しようとしています。いまや、教授会自治はますます解体され、「大学改革」の名の下に、学位の授与まで含めて教授会が行うのではなく、理事会が行う。こんな話が通ろうとしています。また、人文系・教員養成系の予算が廃止される。あるいは「目的の転換」といって、国策に沿う限りにおいてその存在を許される。今までは考えられなかったような大学のとんでもない変質が始まろうとしている。しかし、田中優子総長をはじめ大学人は、安倍政権の基地問題を批判する一方、戦後始まって以来の大学の恐るべき変質には声一つあげない。そればかりか、率先して文科省から金を受け取って、喜んで自慢している。こんなクソ野郎が田中優子なわけです。

私たちはこういう欺瞞的なあり方が許せない。よく、若者が保守化しているといわれます。僕は、保守化してるんじゃない、
「左」「サヨク」が嫌いになっているんだと思います。それは田中優子みたいな連中が、自分の大学や職場では、労働者を切り捨て、学生を切り捨て、非正規職化に加担し、その一方で「憲法を守れ」だとか自分は頭良さそうなことをほざいて、法政大学にお

今、求められているのは学生の闘いだらうと思います。投票率が52%、この数値は若者になるともっとひどくなると言われてます。しかし、この投票率の低さ、あるいは身の回りで政治の話をしている人がいない、これは政治への無関心を示しているではありません。安倍政権が現在進めている戦争政治、産経新聞を含めて新聞の世論調査でも、改憲賛成が過半を超えたことはありません。すでに、安倍政権の戦争政治に対して、もっとも低い統計でも半数の反対が根強くあるわけです。具体的な問題に対してはみんな、はっきりと意見はあるわけです。しかしそれが、じゃあどの政党を選ぶのかという段階になると、安倍政権がやってきたことは民主党政権時代からやられてきたわけです。NSC(国家安全保障局)の設置だって民主党時代です。共産党だってそうです。原発を推進してきたのはどこの誰ですか。共産党を含めて総翼賛で賛成してきたわけです。

私たちは、こういう議会のおしゃべり小屋、4年に一度誰が私たちを裏切るのかを私達自身が選ぶための儀式。こういう選挙、議

戦争法案粉碎! 安倍たおせ!

<6・15国会包囲大闘争>

6月15日(月) 終日、国会デモや座り込み行動<予定>



<4・28沖縄デー闘争>

~日米新ガイドライン締結阻止! 辺野古新基地建設許すな!~

4月28日(火) 12時半 法政大・市ヶ谷キャンパス集合(13時半にデモ出発)

16時 新橋駅から国会へデモ

(終了後に国会議事堂前で座り込み行動)



会に頼るのではなく、繰り返しになりますが私達自身が例えば奨学金、例えば学祭、様々な権利みたいなモノがありますよね。ほとんどが有名無実化しています。しかしそういった権利 やはり上から与えられてきたモノではなく、多々勝ち取られてきたと 言うことです。

皆さん今、例えばブラック企業が蔓延しています。あれだって 本当は、純法律的に言えば、存在し得ないわけです。世の中で法 律が条文通り機能していれば、こんな不幸な世の中にはなって いません。しかし実際には、労働者や学生が現場で声を上げさせら れなくさせられることによって、権力に法を強制する力がもてな くなってしまっている。だから私達は、やはりどこまで行っても、 最高法規の憲法も含めてこういうモノを強制してきたのはやはり 労働者学生の闘いなんだ。この歴史を見据えて、何か偉い奴に頼 るのではなくて、やはり私達の日常、安倍の戦争政治の実質的形 態であるこの日常を共に闘って変えていこうではありませんか！

皆さん、私達は4月28日にここでデモを行います。沖縄デーのデ モです。かつてサンフランシスコ条約で、日本が沖縄を切り捨てる ことで主権を回復しました。以来、在日米軍基地の75%を押し つけられています。そしてこうした現実に対して、田中優子を はじめ、大学陣が反対の声をあげています。

しかし待つてほしい、私たちとともに法大闘争を闘った仲間が 沖縄大学に学生自治会を作りました。基地反対を訴える学生自治 会です。その沖大では、総長は仲地博という、地元紙でさんざん 反基地の大学人として出てくる人物です。しかし彼が支配してい る沖縄大学では、「この中のほとんどは非正規職になります。だ から資格をいっぱい取りましょう」。みんな非正規職前提で「中 国や韓国の人たちに負けないようにがんばりましょう」。あるい は、「基地が絶対に必要な経済的理由とは何か」、こんな誘導尋 問めいたことを沖大でさんざん言っているわけです。そして、実 際に高い学費、雇用の悪化で4人に一人が経済的理由で大学を辞 めている。これが沖大の現実です。

だからどれだけ大学が公的な立場として基地反対を訴えてい て、たとえ辺野古までバスを出したとしたって沖大生の最も有力 な就職先は基地産業なわけです。「基地がなければ経済的に食っ ていけない」という経済的構造を根本から強固に再生産している

のが沖縄大学なのです。

皆さん、こういった構造は全国あまねく大学にあります。だから 私達は日々を変えなければ、大学を変えなければ絶対に社会は 変わらないと訴えています。

皆さん、4月28日共に法大から立ち上がり、国会へ打って出ましょ う。法政大学でかけられている様々な規制、プリンターが課金制 になるなんて事も含めて、国策と一体となって行われています。 大学が営利を一切の目的にして、あらゆる部分で学生から搾り取る。 また一方で管理強化を進めて、学生が社会に出ても国家や資本にとつ て従順な人材になるべく育てる。こういった観点の下で 全てに規制は敢行されています。酒が飲めるかどうかの問題ですら そうなわけです。飲酒規制は、飲める飲めないの問題ではなく、 学生自治を巡る問題なわけです。私達はこういう、法政大学の一 見細かな特有のメーターに見えることでも、やはり全学生の課題で あるし、安倍政権が行おうとしている大学改革、あるいは基地の 強制、戦争政治全て1つなりのモノとして、やはり共に闘ってい くなかで、両方とも変えられる。そういう風に信じています。

皆さん、今の大学においては、私達の行動は非常識に見えるか もしれません。実際、まだ少数です。しかし皆さん、昨年実際に 京大では、私たちとともに闘っている仲間が学内で公安警察を摘 発しました。これまでは考えられなかったような勝利です。

今、ミャンマーでカナダで、あらゆる世界中の国々で、いわゆる 途上国だろうが先進国だろうが、緊縮財政の中であらゆる矛盾 を押しつけられた学生たちがキャンパスで立ち上がっています。

私達にも出来ます。日本の学生こそ、かつて60年・70年安保の 過程で日本の学生は闘っている。やはりこういう力が、世界にお いて認められてたんだと思います。そして今も、小なりと言えど も10年間法政大学で126名の逮捕者・33名の起訴者を出しながらも 不屈に運動を続けています。昨年は暴処法で無罪も勝ち取りまし た。

闘いは確実に前進しています。皆さん、ともに闘いましょう。 この腐った大学と社会のあり方を根底からひっくり返していましょ う。よろしくお願ひします。



【当面する行動方針】

○5/16~18沖縄現地闘争—辺野古新基地建設阻止!—

5月16日(土)~18日(月) ひめゆり資料館見学、辺野古現地訪問、県民集会参加、沖縄大で集会など

○武田雄飛丸君「無期停学」処分撤回裁判・第10回=判決

6月29日(月) 11時~ 東京地裁419号法廷にて

※傍聴券配布のため、10時半までに裁判所入口脇に集合してください。

